菊池一族

歴史にその名を刻んだ一大豪族

菊池一族。現在の熊本県北部、菊池市一帯を拠点に、平安後期から室町時代までの約450年にわたり名を馳せた豪族です。一族の足跡は、『源氏物語』『蒙古襲来絵詞』『太平記』など、当時を語るさまざまな書物にも記されており、九州のみならず朝廷や幕府にまでも、その存在を知らしめていました。

信

菊池一族の魅力としてまず挙げられるのが、その誠実さ。代々朝廷の忠臣として奮闘し、例え不利な立場になったとしても信念を曲げることなく、一途に志を貫き通しました。一族の最盛期である南北朝時代には、北朝有利の状況にあっても南朝の雄として最後まで戦い抜き、愚直なまでに信義を貫く姿勢は、後世まで語り継がれることになりました。

覇

『源氏物語』の中で「勢いいかしめき兵」と謳われたとされる菊池一族。その言葉通り、元寇では蒙古軍をも退ける勇猛さを発揮。また、南北朝時代には九州の政治の中心であった大宰府を占拠して征西府を置き、九州制覇を成し遂げるなど、その実力は中央も知るところでした。

誇

「信念を曲げず、義を貫く」。祖先が築き上げた揺るがぬ思いは、その後も一族の誇りとして脈々と受け継がれ、450年24代という長きにわたる繁栄の礎となり、時代を超えて引き継がれていきました。明治維新の英雄・西郷隆盛は、菊池源吾、つまり「吾が源は菊池」と名乗り、試練の時を乗り切りました。彼の家に伝わる家系図によると、西郷家は菊池一族の子孫とされており、彼らの生き様は勤皇の志士として生きた隆盛にとって、大きな精神的支柱であったと考えられます。菊池家が滅んだ後も、その想いは志を継ぐ人々の中に息づいているのです。

則隆　経隆　経頼　経宗　経直　隆直　隆定　能隆　隆泰　武房　時隆　武時
武重　武士　武光　武政　武朝　兼朝　持朝　為邦　重朝　能運　政隆　武包

南北朝・菊池一族歴史街道とは？

南北朝・菊池一族 歴史街道

現在の熊本県菊池市周辺を拠点に活躍し、南北朝時代(1336～1392年)における南朝側の一大勢力を築いた英雄・菊池武光の生誕700周年の節目となった2019年、武光とゆかりのある5自治体(福岡県久留米市、八女市、小郡市、うきは市、大刀洗町、以下「連携自治体」)と菊池市で、「南北朝・菊池一族歴史街道推進連絡協議会」を発足させました。

協議会の発足に合わせてロゴマークも一般公募。菊池一族の華々しい活躍と、歴史を切り開こうとした情熱、そして連携自治体による共同プロモーションをイメージさせるマークが完成しました。これを機に協議会では、菊池市と連携自治体を含めた広域でのさまざまな地域活性化プロジェクトを進めていきます。

歴史街道略図

スマホの道案内で 楽々散策

本冊子に掲載されている菊池一族ゆかりの各スポットには、グーグルマップの地図QRコードが付いています。現地を訪れた際には、ぜひ読み込んで道案内に沿って散策してみてください！